

衆議院議員 神奈川5区 &lt;戸塚・泉・瀬谷区&gt;



維新の党

# 水戸まさし



## 責任の持てる政治を!

### KICK OFF 通信

深層

### 軽井沢スキーバス転落事故

#### ➤ 大惨事に対するプロジェクトチーム

去る1月15日午前1時59分、軽井沢町の国道18号線において、乗員・乗客41名を乗せた貸切バスが対向車線にはみ出して崖下に転落しました。運転手2名を含む15名が死亡するという、バス史上重大な事故に発展してしまったのです。

国交省は「事業用自動車・事故調査委員会」に対して調査を要請しましたが、最終的な結論を出すのは半年先になるとのこと。これでは余りに対応が遅過ぎますよね。

早速、党としても看過できない重要事故として、再発防止のための法改正に向け、「事故対策プロジェクトチーム」を立ち上げました。

#### ➤ 法令違反が次々に発覚

今まで国交省が特別監査を行った結果、次のような法令違反が判明しております。まずバス事業者に対しては、①運転者の健康診断の未受診、②始業点呼の未実施、③運行指示書の未作成などです。そしてツアー会社に対しては、運賃の下限割れの関与です。

しかし、こうした法令違反を助長させる背景として、価格競争の激化と運転手不足が深刻の度合いを増していると言われております。確かに、競争が厳しければ人件費を下げつつ、高齢者や経験の浅い

ドライバーを集めざるを得ません。また薄利の中、運転者の健康管理や出発前点呼なんて、後回しになってしまうのでしょうか。

#### ➤ 活かされなかった教訓

7人が死亡した2012年・関越自動車道上の高速ツアーバス事故を思い出して下さい。あの時も今回の事故同様の法令違反が指摘されております。その改善点として、運転者の運行距離を短縮したり、バス借り上げ単価を明確にしました。

ところが、バス事業者を巡る構造的な問題はそれ以降も変わらず、このような類似の事故を起こしてしまったことは誠に遺憾です。

#### ➤ 監査体制の強化と再発防止

今回も問題視されている、安全確保を徹底することは不可欠です。もちろん運転者の運転操作のみならず、その健康管理、さらに乗客のシートベルト着用等、法令遵守を徹底化させなければなりません。

また、貸切バス事業者に対する抜き打ち監査も強化する必要があります。残念ながら、現時点での公的な監査および検査体制は脆弱ですので、民間の力も借りるべき時と思われれます。

### 水戸まさしのプロフィール

昭和37年 7月28日生まれ。  
 神奈川県立湘南高校・慶應義塾大学卒業後、サラリーマン生活を経て代議士秘書に  
 平成 4年 「税は政治なり」との思いで始めた税理士試験に合格（平成10年に開業登録）  
 平成 7年 県議会議員初当選～平成19年まで連続3期  
 平成19年 第21回 参議院議員選挙に当選。（予算委員会・財政金融委員会・ODA特別委員会理事）  
 平成26年 第47回 衆議院議員選挙に当選。（総務委員会理事、維新の党・国家政策部会長、税制調査会事務局長）  
 平成28年 維新の党総務会長代理、衆議院沖縄・北方特委理事等  
 <血液型> O型 <趣味> マラソン、水泳、サッカー、映画鑑賞 <尊敬する人> 西郷隆盛